



冷媒管理システム **RaMS**

Refrigerant Management System

RaMS管理代行

【 整備者・取次者 】



一般財団法人日本冷媒・環境保全機構

RaMS管理代行の方法

1. 機器所有者（管理者）の課題
2. 管理業務代行者として提案
3. 管理業務代行の流れ ～事業所登録
事業所登録①
事業所登録②
4. 管理業務代行の流れ ～新規機器登録
新規機器登録①-1
新規機器登録①-2
新規機器登録②
新規機器登録③ 転記
(充填回収業者がRaMSを未利用)
5. 管理業務代行の流れ ～機器追加登録
取次者として連携/機器追加登録①-1
取次者として連携/機器追加登録①-2
6. 管理業務代行の流れ ～簡易点検
簡易点検①
簡易点検②
簡易点検③
7. 管理業務代行の流れ ～定期点検
定期点検①
定期点検②
8. 管理業務代行の流れ ～行程管理票
行程管理票起票①
行程管理票起票②
行程管理票起票③
(充填回収業者がRaMSを未利用)

1. 管理者の課題

◆フロン排出抑制法を遵守するための管理業務の増加

1. 管理担当者の選任(管理体制の構築)
2. 管理すべき使用機器(第一種特定製品)のリスト作成
3. 点検整備記録簿(ログブック)の作成と整備の記録、保存
4. 機器の適切な設置と適正な使用環境の維持
5. 簡易点検(全ての機器、3ヶ月に1回以上)と定期点検(7.5kW以上の機器)の実施
6. 漏えい時における適切な対処(繰り返し充填の禁止)
7. 機器廃棄時のフロン回収(行程管理票による廃棄処理)
8. 算定漏えい量の算出と国への報告(1,000t-CO₂以上の場合)

とても管理ができない・・・、
「フロン排出抑制法」を遵守
できない・・・
まあ、いいかそんなに厳し
くないだろう・・・



これは法令違反です、罰則があります！

企業の信頼感を
失いかねません！

◆冷凍空調機器をとりまとめる管理担当者の悩み

●事業所の総務、施設担当者

1. 担当者はいるが、冷凍空調機器だけの専任はおらず他の業務で手一杯
2. 機器毎に設備業者が異なる為、充填証明書・回収証明書も書面でバラバラで紙での保存・管理が負担
3. 算定漏えい量の計算に時間が掛かって大きな負担
4. マクロを組んでExcelで計算はしたが、機器を入れ換えたり担当者が変わったら翌年度はできるか不安
5. ISO14001を取得しているけど、「フロン排出抑制法」遵守のエビデンスはどうしたらよいだろうか！！

●地場のスーパーの店長

1. 日々の業務があり、冷凍空調機器のフォローなどできない
2. 本社にまかせている

2. 管理業務代行者として提案

事業所（管理者）の管理業務（委託契約）をRaMSで簡単管理

● 委託を受けた事業所・スーパーの管理代行者として、RaMSに事業所登録

- 1) 対象となる使用機器をリストアップし、RaMSに点検整備記録簿を作成(ログブック登録)
- 2) 他の充填回収業者が行った整備内容も管理代行者としてRaMSのログブックに記録・保存
- 3) 保守委託契約のひとつとしてログブック登録機器の簡易点検業務を実施
- 4) 定期点検機器もサポート、他の業者が設置した機器の点検時期などフォロー

● RaMS利用ならではのメリット

- 1) 機器の設置から簡易点検、定期点検のサポート、算定漏えい量の算出、廃棄時の処理まで法律で必要とされる機器の管理業務を電子的に一括管理できる
- 2) 充填証明書、回収証明書はもとより管理者が法的に管理・保存すべき書面(行程管理票A、E票含)は全て電子的な保存で法的に担保されるので、紙での保存・管理は一切不要
- 3) 国の指定した唯一の情報処理センター機能を有し、データの機密保持、保存も安全、安心
- 4) ISO14001(環境マネジメントシステム)の維持管理も容易
- 5) データの登録作業は履歴やプルダウンメニューの活用で負担を軽減
- 6) 少ない費用で運用、管理可能
- 7) 担当者が代わっても引継ぎが容易
- 8) 管理業務の代行者として、事業者(管理者)と緊密な関係の構築が可能

3. 事業所登録① 【整備者・取次者】

STEP1 RaMSに事業者登録

● 取次者登録

- 1) 管理代行者となる取次者は、**取次者として機器の新規登録はできません**

● 管理者登録(委託代行として)

★管理者とRaMSを利用してフロン管理を代行する**委託契約**を結んだ上で、管理者として登録

*** 管理者と事業所登録したID、パスワードを共有しておくことが望ましい**

- 1) 管理者の法定管理者(本社)の名称・住所
- 2) 施設管理者(事業所)の名称・住所
- 3) 機器管理従業者の名前(管理代行担当者)
- 4) 管理代行担当者のE-mail
- 5) ログブックの購入、更新などのポイントを用意する

STEP2 RaMSに機器登録(ログブック作成)

● 管理者の冷凍空調機器

- 1) 管理者の事業所の冷凍空調機器のリストアップ
- 2) ログブックの準備

● ログブックへの機器登録

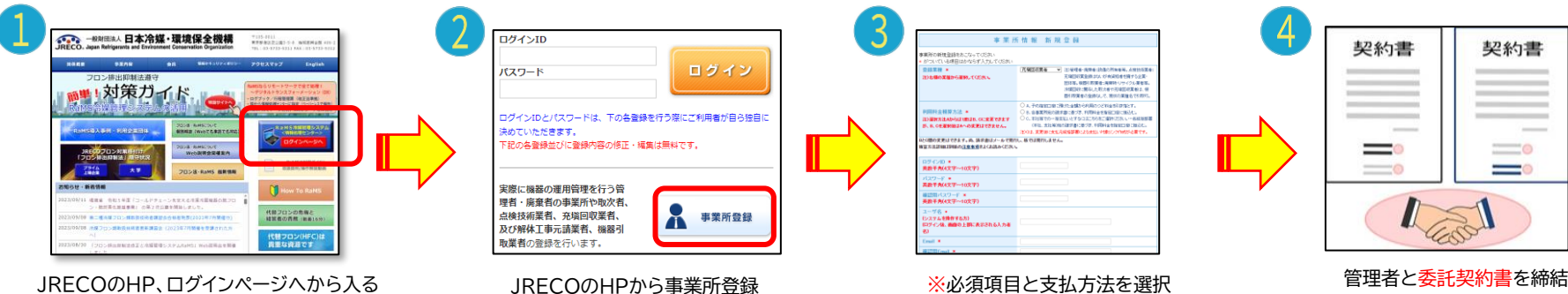
- 1) 管理者の機器を確認して、**管理者として**ログブック登録
- 2) **充填回収業者へ**整備時にログブック登録を依頼し、整備者ありと処理して追加してもらう



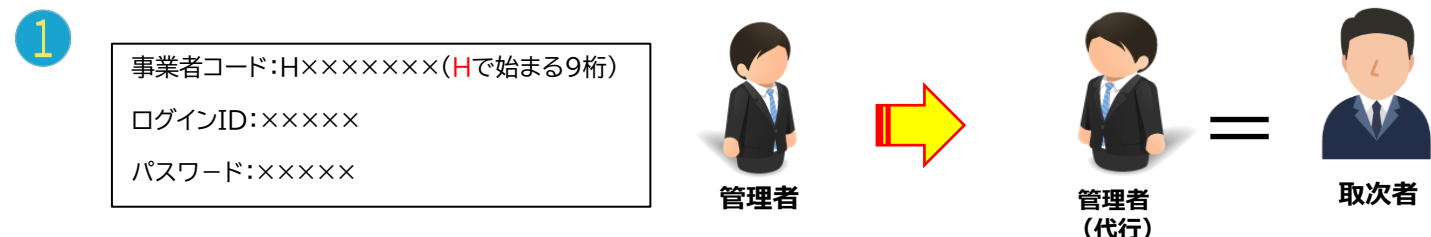
3. 事業所登録② 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

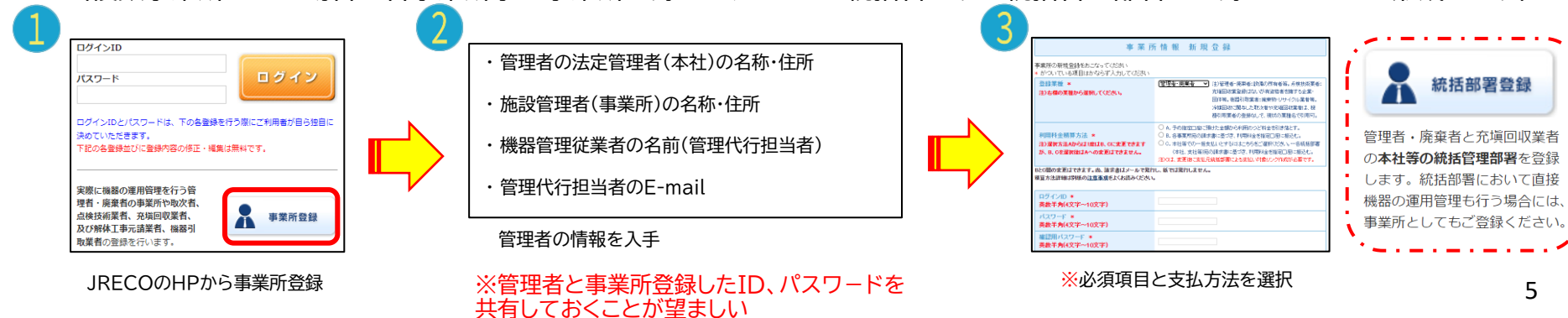
1. RaMSへ整備者・取次者として登録し、機器所有者(管理者)と**管理業務代行委託契約書**を締結



2. 管理者が既に**RaMSを利用済み**の場合、登録していますHで始まる事業所コードとログインID・Passを共有



3. 管理者が**RaMSを未利用**の場合、管理者の代わりに事業所登録(管理者・廃棄者)をします
(複数事業所がある場合は各事業所事に事業所登録をし、それらを統括管理する統括管理部署を登録してリンクを形成します)



4. 新規機器登録①-1 【整備者・取次業】

◆管理業務代行の流れ(イメージ) 【管理者代行として機器を登録する場合】

1. 機器登録準備として管理者が所有する機器のリストアップ

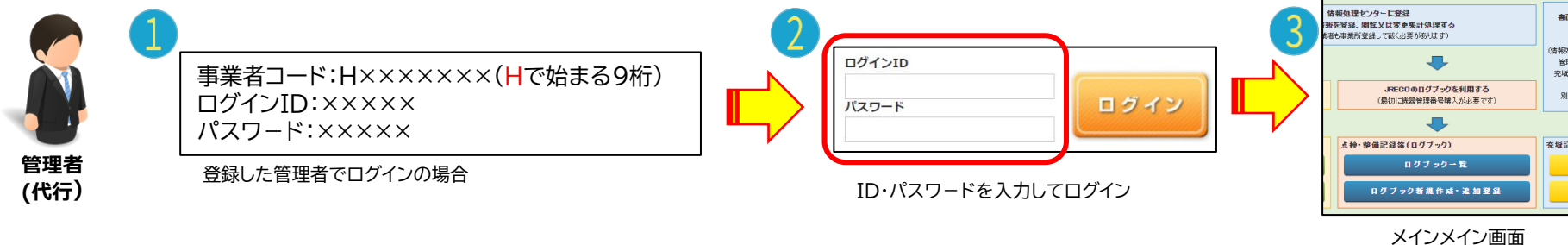
1	NO.	事業所名	メーカー名	機器名称	型式	フロ ン 種	初期 充填量	設置年月日	…
	1	東京営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2022/5/22	…
	2	東京営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2022/5/22	…
	3	東京営業所	三洋電機	冷凍冷蔵庫	M98999	R23	2	2022/9/1	…
	4	大阪営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2020/12/1	…
	5	大阪営業所	日立	ビルマル	H543-M	R32	1	2021/4/1	…
	6	福岡営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2023/6/6	…



管理者から機器リストを入手

2. RaMSに機器を登録するには、管理者でログイン

※管理者でも機器の登録は可能ですが、転記作業で設置時追加充填量の入力をする必要があります。



3. 管理者から入手した機器リストの情報をログブックに登録していきます



『機器の一括登録』
ログブックへの機器の登録は、一台ごとの登録となります。

複数台一括登録の場合は代行入力サービス(別途費用)をご利用できます。JRECO担当までご相談ください。

4. 新規機器登録①-2 転記 【整備者・取次業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ) 【管理者代行として機器を登録する場合】

1. 設置時追加充填量の入力処理を管理者として転記処理を行い、機器の登録完了

※充填回収業者がRaMSを使用していない場合は、設置時追加充填量の入力を管理者にて行えます。機器一覧の操作から転記処理を行って下さい



管理者
(代行)

1

点検・整備記録簿機器一覧

製品施設 都道府県	最終 更新日 更新	次回簡易 点検期限	操作
東京都	2024-07-05	次回定期 点検期限	閲覧 簡易点検 パス設定
			【初回未登録】 転記 開鎖

管理者でログイン後、点検・整備記録簿機器一覧の操作欄から**転記**を選択し、「2.漏洩点検・整備、回収・充填記録」の「点検・整備区分」にある設置時追加充填量の入力処理が終了すると、整備・定期点検の入力が可能になります

2

ご確認ください

転記について

充填回収業者から紙面による充填証明書、回収証明書の交付や、点検や修理等の作業報告書の提出を受けた管理者が、その内容をログブックに転記するためにご利用戴く画面です。

1回の転記を行うごとに、100円・消費税の登録費用が管理者に課金されます。

(但し、「設置時追加充填量」の登録まではログブックの新規作成費に含まれますので、別途登録費用は不要です。)

充填回収業者に作業を依頼する際にRaMSの利用を指示しログブックに入力して貰えば、書面での証明書の交付や転記入力は不要となり、管理者は入力内容を承認するだけで登録できます。

OK

転記についての注意が表示されます。設置時追加充填量の入力処理はログブック**作成費用に含まれますので、無料**となりますが、整備・点検記録などの入力などの場合は、**費用が発生**いたします

2. 漏洩点検・整備、回収・充填記録

…充填記録が1表の使用記録と相違するとエラーとなります。

一旦回収して作業後にその記録を再充填した量は「戻し充填量」に、新たな記録を充填した量は「追加充填量」に記入して下さい。

「漏洩・再生・保管量」は「回収量」から「戻し充填量」を引いた量で、自動計算されます。数値が0以外の値に表示される場合は、処理用の行程管理系が自動作成されます。(無料)

吐出点検や整備後点検等をもって定期点検に代える場合は、「点検・整備区分」を「定期点検」としてください。

定期点検で簡易点検も兼ねる際は、簡易点検記録も記入して下さい。記入しないと次回期限が表示されません。

作業年月日*	点検・整備区分*	充填冷媒	回収量 kg*	戻し充填 量 kg*	追加充填 量 kg*	漏洩・再生 ・保管量 kg	点検内容*	点検結果*
2024-07-11	設置時追加充填量	R410A						
入力日の日付を記入								
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容	直ちに修理困難な場合はその理由	修理予定日				
備考*	充填回収業者の名称と登録番号、計測者の交付年月日と記載あれば番号もご記入ください。							

2. 漏洩点検・整備、回収・充填記録

作業年月日	点検・整備区分	充填冷媒	回収量 kg	戻し充填量 kg	追加充填量 kg	漏洩・再生・保管量 kg
2024-07-11	設置時追加充填量	R410A			0.00	
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容	直ちに修理困難な場合はその理由	修理予定日		
備考	転記処理					

戻る

登録

内容を確認して登録完了です

一覧へ戻る 確認画面へ 一時保存

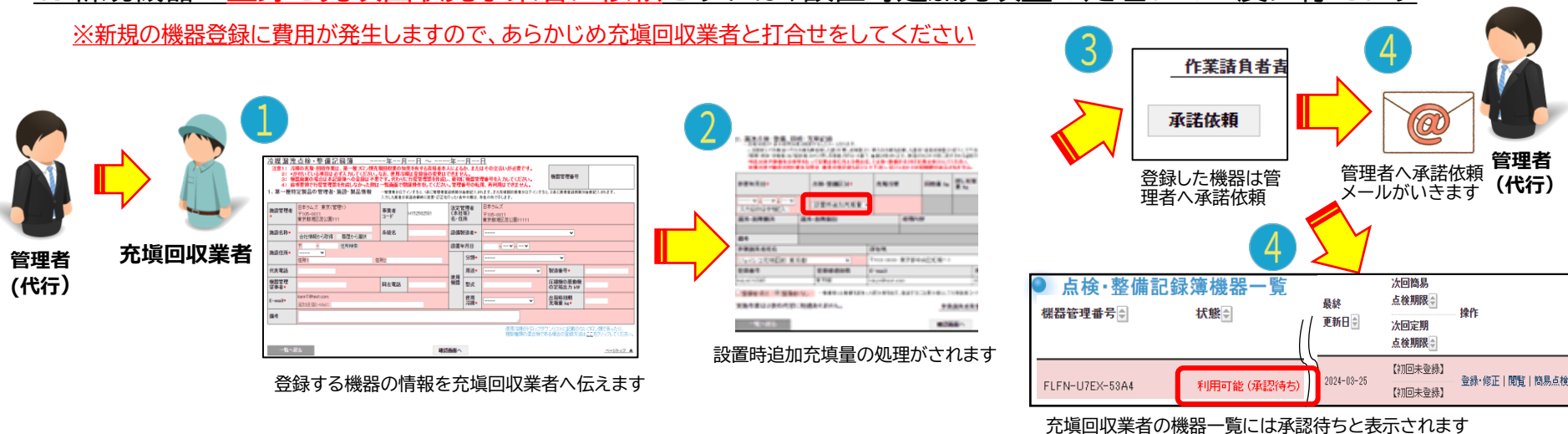
設置時追加充填量の入力処理を行ってください

4. 新規機器登録② 【整備者・取次者】

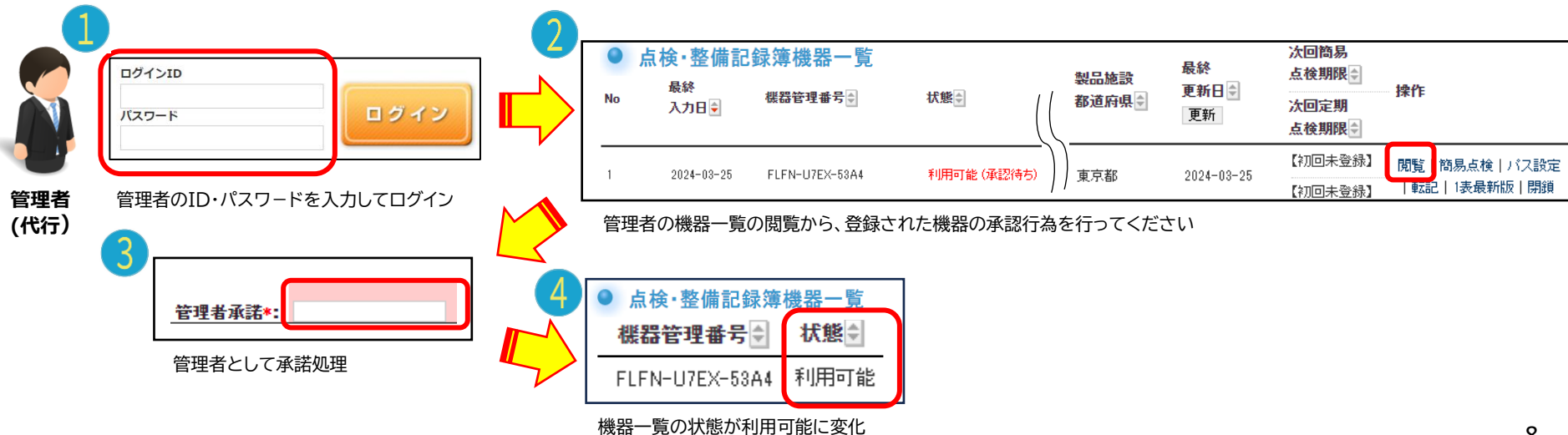
◆管理業務代行の流れ(イメージ) 【充填回収業者に機器登録を依頼する場合】

1. 新規機器の登録を充填回収完了業者に依頼をすれば、設置時追加充填量の処理まで一度に行えます

※新規の機器登録に費用が発生しますので、あらかじめ充填回収業者と打合せをしてください



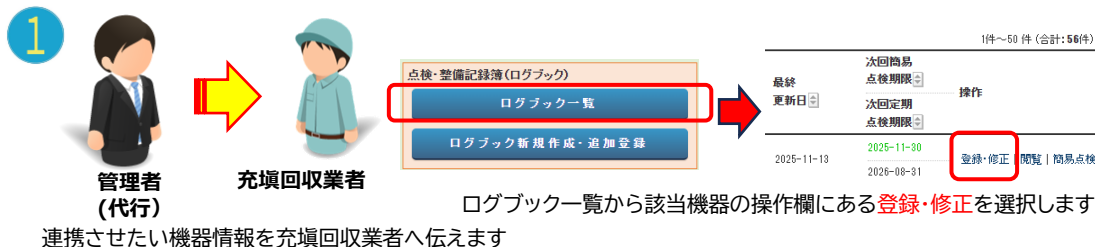
2. 管理者でログインし、機器の登録承認をしましょう



5. 取次者として連携 / 機器追加登録①-1 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. すでにRaMSに登録してある機器に取次者を連携させる場合、充填回収業者に機器登録情報から整備者ありとして登録してもらいます ※新規機器登録時も整備者ありで登録できます



2. 漏洩点検・整備・回収・充填記録

…充填記録が1表の履歴情報と相違するエラーとなります。
…自動記録で作業後にその履歴を再入力した場合は「既知点検区画」に記入して下さい。
「既知・再検・再検」は「既知区画」から「既知点検区画」を選択した場合、自動計算されます。既知区画以外に記入される場合は、修理内容の管理画面が自動作成されます。(無料)
…点検区画や整備点検区画等をもって定期点検に代える場合は、「点検・整備区分」を「定期点検」として下さい。
…定期点検で漏洩点検も兼ねる際は、漏洩点検区画も記入して下さい。記入しない場合次回点検が表示されません。

作業年月日*	点検・整備区分*	充填冷凍	回収量 kg*	戻り充填 量 kg*	追加充填 量 kg*	破壊・再 生・保管 量 kg	点検内容*	点検結果*
2023-04-24	定期点検	R22						
漏洩・故障箇所 漏洩・故障原因								
備考 GG								
作業請負者社名 所在地								
ジェイレコ充填回収 東京都 千103-								
登録番号 登録都道府県 E-mail								
tokyo012345 東京都 tokyo@test.com								
代表電話 03-0022-0011								
<input type="radio"/> 整備者1あり <input checked="" type="radio"/> 整備者1なし								
実施作業は2表の内容に相違ありません。 作業請負者責任者確認: 管理者承諾:								
<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="確認画面へ"/> <input type="button" value="一時保存"/>								

3

☐ 整備者1あり ☒ 整備者1なし

☒ 整備者1あり ☐ 整備者1なし

整備者1ありにチェック

☒ 整備者1あり ☐ 整備者1なし …整備者とは整備を請負った取次者を指す。登録するには取次者としての事業者コードが必要。

整備社名*	事業者コード	所在地	代表電話	整備担当者
<input type="radio"/> 履歴から選択 <input checked="" type="radio"/> 事業者コードから選択 事業者コードを入力してください				

初めての場合は、取次者の事業者コード:T××××××××(Tで始まる9桁)を充填回収業者に伝えて登録してもらいましょう

4

作業請負者責

承諾依頼

2. 漏洩点検・整備・回収・充填記録

作業年月日	点検・整備区分	充填冷凍
2023-04-24	定期点検	R22
漏洩・故障箇所 漏洩・故障原因		
備考 GG		
作業請負者社名 所在地		
ジェイレコ充填回収 東京都 千103-		
登録番号	登録都道府県	E-mail
tokyo012345	東京都	tokyo@
整備社名I	事業者コード	所在地
ジェイレコ取次	T956902292	千105-

管理者へ承諾依頼

5

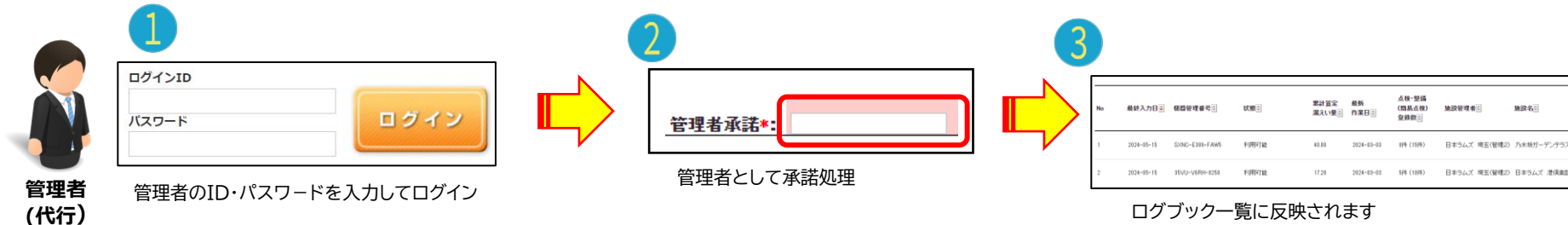
管理者 (代行)

管理者でログインして承諾をしましょう

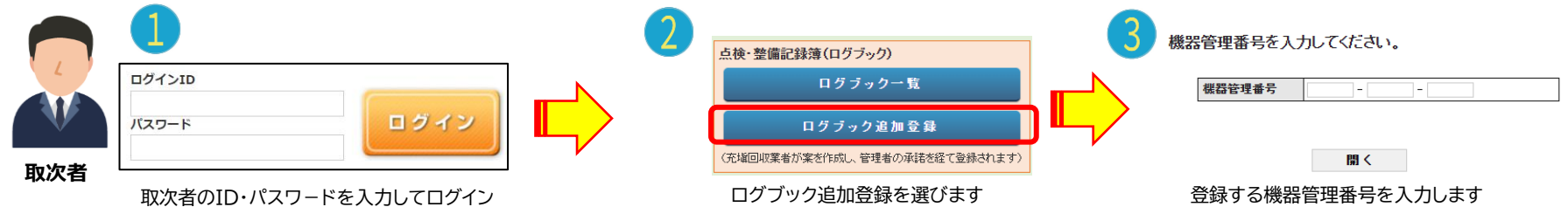
5. 取次者として連携 / 機器追加登録①-2 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

2. 充填回収業者からの承諾メールを管理者としてログインして承諾後、取次者の機器リストに反映されます



3. すでにRaMSに登録してある機器を取次者の画面から登録する場合 ※新規機器登録はできません



※取次者としてログインし、すでに登録されている機器番号から、機器の追加登録を行うことができますが、その時に簡易点検の処理を行う必要性が生じます。
どうしても取次者のログブック一覧に表示させたい場合は、簡易点検業務と一緒に登録をお勧めします。

[illegible]

簡易点検入力処理後、取次者のログブック一覧に反映されます

6. 簡易点検①【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 簡易点検業務は3カ月に1回実施しましょう

簡易点検は、どなたがやっていただいてもかまいません、毎月実施でもかまいません



管理者
(代行)

1

事業者コード:H×××××××(Hで始まる9桁)
ログインID:×××××
パスワード:×××××

管理者でログイン

2

ログインID
パスワード

ログイン

ID・パスワードを入力してログイン

3

メインメニュー

検索欄: 完備回収業者 前回のログ

完備・回収記録の処理、点検・整備記録簿(ログブック)の作成等
(注)機器廃棄時は、センターへ登録や回収証明書交付ではなく、行政事務を伴います

情報処理センターに登録
情報を登録、閲覧又は変更実行処理する
(最初に機器管理番号を入力する必要があります)

・新設のログブックを利用する
(最初に機器管理番号を入力する必要があります)

点検・整備記録簿(ログブック)
ログブック一覧
ログブック新規作成・追加登録

メイン画面から
ログブック一覧を選択

4

点検・整備記録簿機器一覧

No	最終 入力日	機器管理番号	状態	製品施設 都道府県	最終 更新日	次回簡易 点検期限	次回定期 点検期限	操作
1	2024-02-02	KPMG-P8WC-SVDX	利用可能	東京都	2023-04-28	2024-06-30	2026-02-28	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 開鎖

ログブック一覧から該当機器を探しましょう

簡易点検 ワンポイント

点検時期の表示: ☒表示 ☐非表示 切替

「表示」を選択すると次回簡易点検と次回定期点検の実施期限日を表示し、且つ日付の文字色は黒から下記のように変わります。
(簡易点検で常時監視システムを利用している場合は、「常時監視中」と表示します。)

簡易点検: 期限(前回点検日の翌月1日から起算して3か月後の月末日)の15日前で**緑色**、過ぎると**赤色**
定期点検: 期限(前回点検日の翌月1日から起算して1年後または3年後の月末日)の30日前で**緑色**、過ぎると**赤色**
但し、前回点検記録が未登録の場合は「初回未登録」と表示します。

なお定期点検期限は、ログブックの1表における圧縮機定格動力が7.5kW未満の機器では「対象外」、同欄が空欄の場合は「未記入」と表示します。

点検・整備記録簿機器一覧

最終 更新日	次回簡易 点検期限	操作
2024-02-02	2024-04-30	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 開鎖
	2024-09-30	

簡易点検15日前を過ぎると**緑色**に変化

点検・整備記録簿機器一覧

最終 更新日	次回簡易 点検期限	操作
2023-08-23	2023-11-30	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 開鎖
	2026-06-30	

簡易点検期日を過ぎると**赤色**に変化

5

最終 更新日	次回簡易 点検期限	操作
2024-03-18	2023-10-31	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 開鎖
	2024-10-31	

操作から簡易点検を選択します

6. 簡易点検② 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

2. 簡易点検内容を入力

簡易点検した内容を入力していきますが、デフォルトの点検項目以外にオリジナル項目の作成ができます
※管理者以外が簡易点検を行うと、作業結果のメールが管理者へ送付されてきます。(承認行為なし)

冷暖漏洩点検・整備記録簿 2019年2月14日 ~ ----年--月--日

注意: 命題の先読・回収作業は、第一種フロン補充回収作業の知識を有する資格者本人によるか、またはその立会いが必要で、
*付いている項目は必ず入力してください。
*本点検は、簡易点検と異なり、点検結果が記録されます。

機器管理番号 NSWH-306A-UYN2
記録更新: 2024-03-18

1. 第一種特定製品の管理者・施設・製品情報

※「管理者」がログインすると、1項に「管理者」が登録されます。また、施設・製品情報が自動入力されます。2項に「管理者」が登録されます。

施設管理者 日本ラウス 東京(管理1) 〒105-0011 東京都港区芝公園11	事業者 コード H15052581	法定管理者 (本社等) 名・住所 日本ラウス 〒105-0011 東京都港区芝公園1111
施設名称 MSW	系統名 実験室K	手書き入力 IC電機
施設住所 〒640-8686 (住所検索) 和歌山県 住所1 和歌山市手平 住所2	設置年月日 2019-12-14	分類 ビル用パッケージエアコン
代表電話	用途 空調用	製造番号 12345678
機器管理 担当者 若山 寛利	同左電話	型式 PAR-33399
E-mail kanri@test.com 追加送信E-Mail:	使用 機種 R22 GWHP1760	圧縮機の駆動 機定格出力 kW 10.9
備考 機器の備考欄		出荷時期 発売年 年 2000

【1表】

施設管理者情報
機器情報が確認
できます

2. 簡易点検記録

※簡易点検は点検者によって記録されますが、簡易点検の記録は点検者によって記録されます。
(本点検より上等の点検結果が記録された場合は、簡易点検の記録は1日以内の点検結果の日付で上書きされます。)
*点検した項目で「チェック」が押された場合は、チェックの項目に「なし」を記入し、「あり」の場合は、コメント欄に状況を記載すること。
*点検時に「なし」を選択した場合、点検結果が「あり」の場合、コメント欄に状況を記載すること。
(点検の結果、修理内容は、簡易点検ではなく、通常の点検・修理記録として記録すること。
*簡易点検に付いた点検結果に基づき、簡易点検システムを利用する場合は、簡易点検に「簡易点検システム利用」にチェックを記入、終了時にはチェックを付して、簡易点検に必要事項を登録すること。

作業年月日* 簡易点検フォーマット* 点検者*

ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン

入力日の日付を記入

1. 室外機の異常振動・異常運転音状況	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
2. 室外機及び周辺の油のじみ	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
5. (店舗用パッケージエアコン) 熱交換器の霜付き、油のじみなど	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
6. 漏えい兆候	なし	コメント:
7. 気付き事項		コメント:

☐ 常時監視システム利用

【2表】

簡易点検内容を
入力します

3. 簡易点検履歴

※2項に記入された内容が自動転記されます。

状態	伝票番号	作業年月日	簡易点検フォーマット	操作
完了	S0001	2021-07-21	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧
完了	S0002	2021-12-17	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 破棄
完了	S0003	2022-03-17	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 破棄
完了	S0004	2022-10-28	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧
完了	S0005	2022-12-21	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 破棄
完了	S0006	2022-12-21	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 破棄
完了	S0007	2023-03-06	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 破棄
完了	S0007	2023-06-15	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧

【3表】

簡易点検の履歴
を確認できます

簡易点検 ワンポイント

作業年月日* 簡易点検フォーマット*

ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン

入力日の日付を記入

1. 室外機の異常振動・異常運転音状況	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
2. 室外機及び周辺の油のじみ	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
5. (店舗用パッケージエアコン) 熱交換器の霜付き、油のじみなど	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
6. 漏えい兆候	なし	コメント:
7. 気付き事項		コメント:

デフォルトでエアコンや冷凍冷蔵庫の簡易点検項目を選択できますが、貴社オリジナルの内容で簡易点検を行う場合は、オリジナルフォーマットで簡易点検を行う事ができます。

簡易点検フォーマット*

ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン

ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン
大型冷凍機
ショーケース・業務用冷凍冷蔵庫
冷凍冷蔵庫
その他

作業年月日* 簡易点検フォーマット*

その他

入力日の日付を記入

1.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
2.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
3.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
4.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
5.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
6.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
7.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
8.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
9.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
10.	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
11. 漏えい兆候	なし	コメント:
12. 気付き事項		コメント:

6. 簡易点検③ 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

3. 簡易点検内容を入力 一括入力

同じ種類の機器であれば、簡易点検の入力を一括で30台まで行う事ができます

点検・整備記録簿機器一覧

点検時期の表示: ☒表示 ☐非表示 ☐切替

「表示」を選択すると次回簡易点検と次回定期点検の実施期限日を表示し、且つ日付の文字色は黒から下記の様に変わります。
(簡易点検で常時監視システムを利用している場合は、「常時監視中」と表示します。)

簡易点検: 期限(前回点検日の翌月1日から起算して初月後の月末日)の15日前で緑色、過ぎると赤色
定期点検: 期限(前回点検日の翌月1日から起算して1年後または3年後の月末日)の30日前で緑色、過ぎると赤色
(但し、前回点検記録が未登録の場合は「初回未登録」と表示します。)

なお定期点検期限は、ログブックの1表における圧縮機定格動力が7.5kW未満の機器で「対象外」、同値が空欄の場合は「未記入」と表示します。

複数簡易点検記録一括登録

製品施設 最終 次回簡易 点検期限 操作
都道府県 更新日 更新
東京都 2024-05-08 2024-06-30 登録・修正 | 閲覧 | 簡易点検
2027-06-30

ログブッカー一覧から複数簡易点検記録一括登録ボタンを押します

簡易点検記録一括登録

現在表示されている機器一覧から複数のログブックを指定して一括で簡易点検記録を登録できます。(無料)

☒簡易点検記録登録

フォーマット選択: -----

ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン
大型冷凍機
ショーケース・業務用冷凍冷蔵庫
冷凍冷蔵庫
その他1
その他2
その他3

簡易点検を行う種類のフォーマットを選択します

3

簡易点検記録 ...簡易点検は定期点検と異なりでも結構ですが、簡易点検の記録は定期点検記録とは別に作成してください。
(本画面右上等の次回簡易点検期限は、簡易点検記録の登録日から30日後の日付を表示します。)

注)フォーマットを変更するには前画面に戻ってください

作業年月日*	簡易点検フォーマット	点検者名*
入力日の日付を記入	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	
1. 室外機の異常振動・異常運転音状況	<input type="checkbox"/> チェック コメント:	
2. 室外機及び周辺の油のにじみ	<input type="checkbox"/> チェック コメント:	
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	<input type="checkbox"/> チェック コメント:	
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無	<input type="checkbox"/> チェック コメント:	
5. (店舗用パッケージエアコン) 熱交換器の霜付き、油のにじみなど	<input type="checkbox"/> チェック コメント:	
6. 漏えい兆候	<input type="checkbox"/> なし コメント:	
7. 気付き事項	コメント:	

簡易点検内容を入力します

4

系統名	製品施設	最終更新日	次回簡易点検期限	一括登録対象	操作
1号館	東京都	2025-10-20	2025-09-30	<input type="checkbox"/>	1表最新版 簡易点検最新版
ビル用パッケージエアコン	東京都	2025-02-27	【初回未登録】	<input type="checkbox"/>	1表最新版 初回未登録
ビル用パッケージエアコン	東京都	2025-02-27	【初回未登録】	<input type="checkbox"/>	1表最新版 初回未登録
東京営業所	埼玉県	2023-05-22	2023-06-30	<input type="checkbox"/>	1表最新版 簡易点検最新版
ビル用パッケージエアコン	埼玉県		【初回未登録】	<input type="checkbox"/>	1表最新版 初回未登録
ビル用パッケージエアコン	東京都	2025-06-25	【初回未登録】	<input type="checkbox"/>	1表最新版 初回未登録

ログブッカー一覧にあります、一括登録対象のチェックボックスに該当する機器のチェックをいれてください

5

簡易点検を一括登録しますか?

OK

キャンセル

6



管理者へ点検内容
メールがいきます



管理者
(代行)

一括登録の最終確認後、管理者へ点検内容の通知が送られます

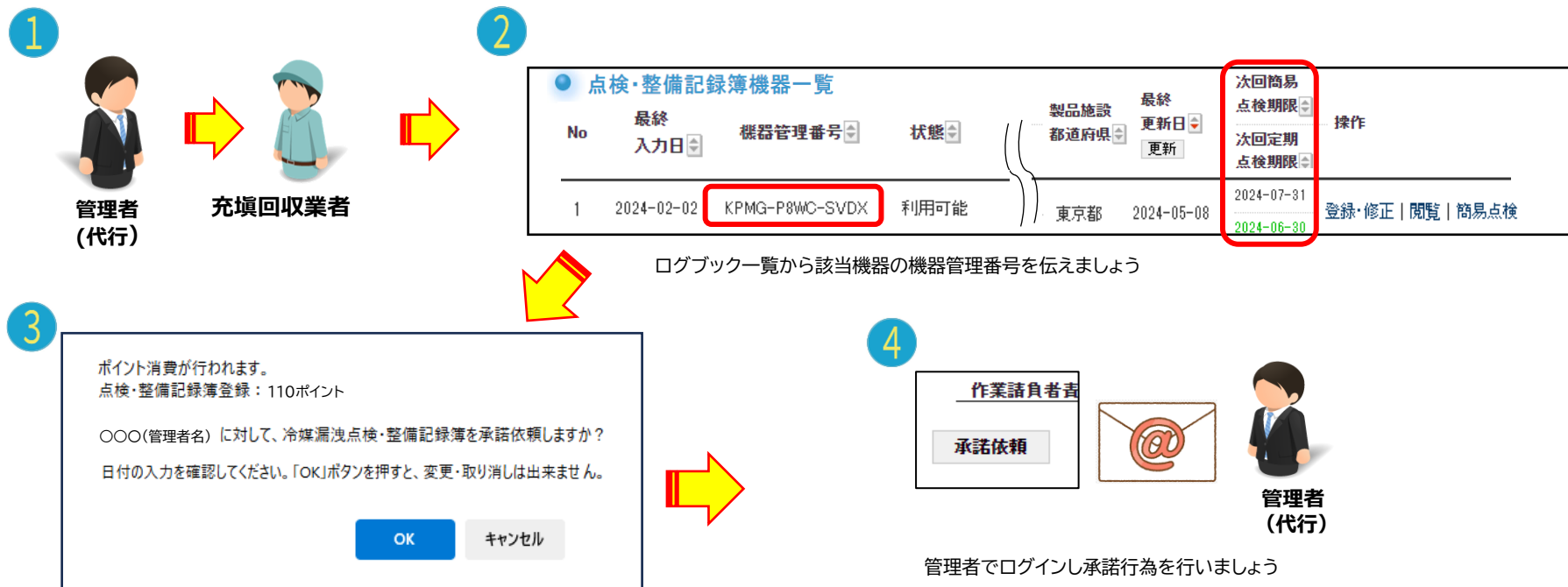
7. 定期点検① 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 定期点検業務は機器の定格出力により、1年または3年毎に実施しましょう

エアコンは圧縮機の定格出力7.5kw以上50kw未満は3年に一回以上の定期点検、圧縮機の定格出力50kw以上は1年に一回以上の定期点検
冷蔵・冷凍機器は圧縮機の定格出力7.5kw以上は1年に一回以上の定期点検

2. 充填回収業者に依頼します。対象機器の機器管理番号を伝えます。



整備記録を充填回収業者が登録後、管理者へ承諾依頼の通知が送付されます

7. 定期点検② 転記 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ) 【充填回収業者がRaMSを利用していない場合】

1. 定期点検の入力 ※ログブック一覧の該当機器の操作欄にある**転記**から処理をします

点検整備をした内容を入力していきますが、**簡易点検**と違い一括入力などは行えません

冷媒漏洩点検・整備記録簿 2020年1月17日 ~ ----年--月--日

機器管理番号 ARUF-LWTF-36KV
初回登録日: 2020-08-19
最終登録: 2021-10-27
最終更新: 2024-04-24
次回定期点検期日: 2024-07-31
次回定期点検期日: 2024-06-30

注意: 1: 冷媒の充填・回収作業は、第一種圧入/漏洩回収業者の知識を有する技術者本人によるか、またはその立会いが必要。
2: *が印している項目は必ず入力してください。なお、使用冷媒は登録後の変更はできません。
3: 修理履歴の項目は必ず入力してください。ただし、修理履歴を印刷し、後日、機器管理番号を入力してください。
4: 前年度で修理履歴を印刷した場合は、一度画面で印刷操作をしてください。管理番号の転用、再利用はできません。

1. 第一種特定製品の管理者・施設・製品情報

施設管理者 日本ラップ 兵庫(管理7) 千66-0802 兵庫県神戸市中央区北野町777 事業者コード H02205970 施設管理者(本拠地)名・住所 日本ラップ 千105-0011 東京都港区芝公園11111 設備製造者 手書き入力 ー プラダリニューから選択 または手書き入力(法定登録) 設置年月日 2020 ー 1 ー 17 ー 分類 店用用パッケージエアコン 用途 空調用 製造番号 TDPAC3-00123 型式 TDFACM04 圧縮機の駆動電圧の定格出力 kW 18 使用冷媒 R410A GWP: 1920 出荷時期初充増量 kg 20.00

修理履歴の場合は本記録簿への登録は不要です。代わりに修理履歴を印刷し、後日、機器管理番号を入力してください。

2. 漏洩点検・整備・回収・充填記録

一度漏洩点検が完了した場合は、その漏洩点検と関連するエラーとなります。
一旦登録して作業後にその漏洩点検を再実施した場合は「再点検記録」に記入して下さい。
【備考・再点検・保管室】は「回収室」から「再点検記録」を引いた状態で、自動計算されます。数値が0以外の時に表示されるのをそのまま残せば、修理履歴の管理履歴が自動計算されます。(備考)
定期点検や修理履歴点検等をもって定期点検に代える場合は、「点検・整備区分」を「定期点検」としてください。
定期点検で漏洩点検も兼ねる際は、漏洩点検記録も記入して下さい。記入しないと次回定期点検が表示されません。

作業年月日 点検・整備区分 充填冷媒 回収量 kg 戻り充増量 kg 追加充増量 kg 破壊・再生・保管量 kg 点検内容 点検結果
入力日の日付を記入
漏洩・故障箇所 漏洩・故障原因 修理内容 直ちに修理困難な場合はその理由 修理予定日
備考 充填回収業者の名称と登録番号、計測者の交付年月日と記載後には署名も必要です。

一覧へ戻る

確認画面へ

一時保存

3. 冷媒の充填・回収状況

確認画面が表示すると自動計算されます。【初期補充量】は出荷時初期補充量に設置時追加補充量の合計で、「合計補充量」にはあてはめません。
【合計補充量】は「合計補充量」として計算されます。

充填冷媒	(参考) 漏洩化係数	初期補充量 kg	合計補充量 kg	合計回収量 kg	合計排出量 kg	排出量CO2 トン
----	----	----	----	----	----	----

4. 点検・整備・充填・回収履歴

一旦記入された内容が自動計算されます。但し、作業履歴は表示されません。充填量、戻り充増量と追加補充量の合計です。冷媒量に関する累計結果は右の表に表示されます。

状態	伝票番号	作業年月日	点検・整備区分	回収量 kg	充増量 kg	点検内容	点検結果	漏洩・故障原因	漏洩・故障箇所	修理内容(交換部品)	操作
完了	A001	2020-01-17	出庫時初期充増量		20.00						閲覧
			設置時追加充増量		2.00						
			定期点検	0.00	0.00	目視外観点検(システム漏れ点検)	なし				閲覧
完了	A002	2021-06-21	直ちに修理困難な場合はその理由								再発行 印刷
			備考								

一覧へ戻る

確認画面へ

一時保存

ページトップ ▲

最終 次回簡易 点検期限 操作
更新日 更新 2024-03-18 2023-10-31 閲覧 | 簡易点検 | バス設定
2024-10-31 2024-10-31 転記 | 1表最新版 | 閉鎖

ログブック一覧の操作から**転記**を選択します

【1表】

施設管理者情報
機器情報が確認
できます

定期点検 ワンポイント

2. 漏洩点検・整備・回収・充填記録

一度漏洩点検が完了した場合は、その漏洩点検と関連するエラーとなります。
一旦登録して作業後にその漏洩点検を再実施した場合は「再点検記録」に記入して下さい。
【備考・再点検・保管室】は「回収室」から「再点検記録」を引いた状態で、自動計算されます。数値が0以外の時に表示されるのをそのまま残せば、修理履歴の管理履歴が自動計算されます。(備考)
定期点検や修理履歴点検等をもって定期点検に代える場合は、「点検・整備区分」を「定期点検」としてください。
定期点検で漏洩点検も兼ねる際は、漏洩点検記録も記入して下さい。記入しないと次回定期点検が表示されません。

作業年月日 点検・整備区分 充填冷媒 回収量 kg 戻り充増量 kg 追加充増量 kg
入力日の日付を記入 設置時追加充増量
漏洩・故障箇所 漏洩・故障原因 修理内容 直ちに修理困難な場合はその理由 修理予定日
備考 作業請負者社名 所在地
ジェイコ充填回収 東京都 千103-0000 東京都中央区虹橋7-7

【2表】

定期点検の内容を
入力します

※の入力は必須

備考に充填回収
業者の情報を記
入しましょう

【3表】

冷媒の充填、回
収状況の記録が
確認できます

【4表】

点検整備記録の
履歴を確認でき
ます

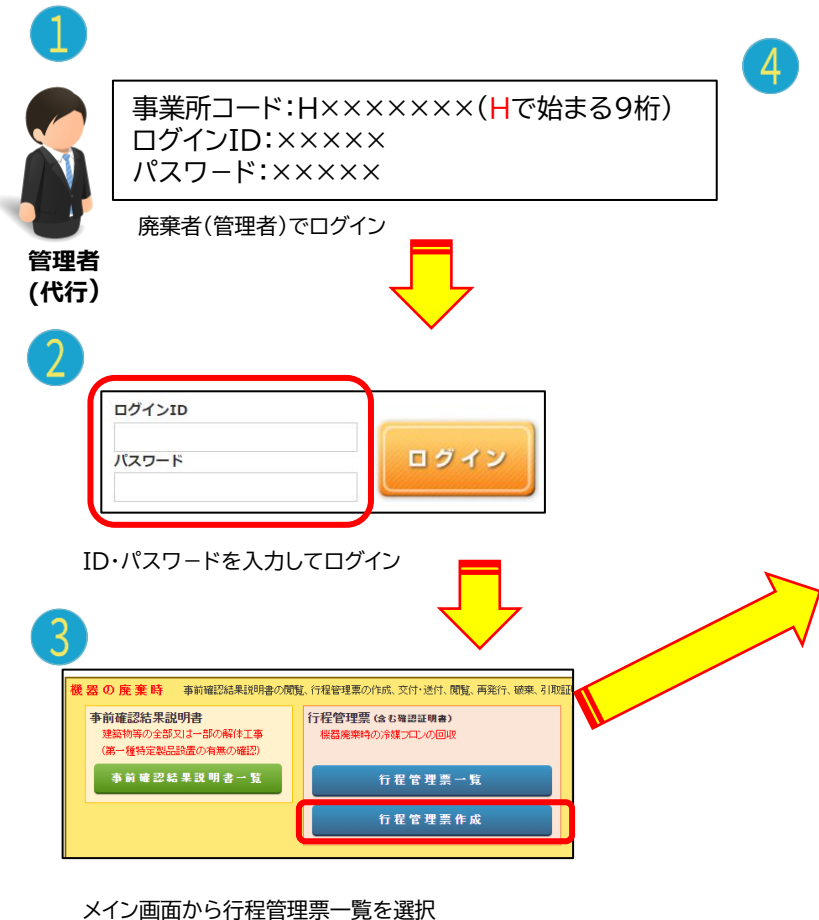
※設置時追加充増量から区別が変更できない場合は、まだ**初期登録が完了していない状態**なので、先に入力処理をすませましょう

8. 行程管理票起票① 【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 機器の廃棄時、行程管理票を起票します

第一種特定製品の廃棄者(管理者)は機器を廃棄する場合、行程管理票を起票します。取次者・充填回収業者でも行程管理票を起票できますが、起票者に費用が発生いたしますので、どの立場で作成をするかお考え下さい。ここでは**廃棄者(管理者)で起票した流れ**をご説明いたします



伝票番号

伝票番号 A票

交付年月日 * - -

入力日の日付を記入

回収依頼書
(兼 フロン類が充填されていないことの確認依頼)

■廃棄する機器の所有者等

● 廃棄 ○ 機器整備/修理

● 確認証明書(フロン類が充填されていないことの確認)
…但し、確認してフロン類が燃焼している場合、回収すること

○ 機器管理番号 - -

○ ログブロッカー一覧から機器を選択

ラジオボタンは再度クリックするとチェックが外れます。
ノンフロン機器の番号は入力できません。

機器所有者等の氏名又は名称 *	● 履歴から選択 ○ 事業者コードから選択 氏名又は名称を選択してください	廃棄する機器がある又はあった施設(建物)名 *	<input type="text"/>
上記の住所 *	〒 <input type="text"/> 住所1 <input type="text"/> 住所2 <input type="text"/>	上記の住所 *	〒 <input type="text"/> 住所1 <input type="text"/> 住所2 <input type="text"/>
システム名	<input type="text"/>		
担当者 この項目は廃棄機器所有者に記入してください この項目です	部署名 <input type="text"/>	氏名 <input type="text"/>	
電話番号 <input type="text"/>		FAX番号 <input type="text"/>	
廃棄する機器の種類及び台数 *	エアコンディショナー <input type="text"/> 台 冷暖機器及び冷凍機器 <input type="text"/> 台	建物解体(含む修繕・模様替え)の有無 *	<input type="radio"/> 解体(修繕等)あり ● 解体(修繕等)なし
フロン類の引渡し先 *	● 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する ○ 取次者に委託する		
フロン類の処理方法	● 再生希望 ○ 再生・破壊のどちらでも良い ○ 破壊希望		

■第一種フロン類充填回収業者

第一種フロン類充填回収業者登録番号	tokyo012345	登録都道府県	東京都
フロン類引取りの終了又は充填ゼロの確認した年月日		引取証明書又は確認証明書の交付年月日	
第一種フロン類充填回収業者の氏名又は名称 *	回収業者を選択してください ジェイエコ充填回収 東京都	回収技術者氏名	
上記の住所 *	〒103 -0000 住所1東京都中央区虹橋 住所27-7		
担当者	部署名 <input type="text"/>	氏名 <input type="text"/>	
電話番号 <input type="text"/>	03-0022-0011	FAX番号 <input type="text"/>	03-0022-0012

A票を起票します。

8. 行程管理票起票②【整備者・取次者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 機器の廃棄時、行程管理票 A票の記入

A票

伝票番号
交付年月日 -- 入力日の日付を記入

回収依頼書
(兼 フロン類が充填されていないことの確認依頼)

■廃棄する機器の所有者等

- 廃棄 ○ 機器整備/修理
…機器整備/修理に伴う冷媒回収の際は、「廃棄」ではなく「機器整備/修理」を選択します
○ 確認証明書(フロン類が充填されていないことの確認)
…但し、確認してフロン類が残存していた場合、回収すること

機器所有者等の氏名又は名称*	日本ラムズ 東京(管理1)	廃棄する機器がある又はあった施設(建物)名*	<input type="text"/>
上記の住所*	〒105-0011 住所検索 住所1 東京都港区芝公園 住所2 111	上記の住所*	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> 住所検索 住所1 <input type="text"/> 住所2 <input type="text"/>
系統名	<input type="text"/>		
担当責任者	部署名* <input type="text"/>	氏名* <input type="text"/>	
電話番号	11-1111-1113	FAX番号	11-1111-1114
廃棄する機器の種類及び台数*	建物解体(含む修繕・模様替え)の有無*		
エアコンディショナー 0 台	<input type="radio"/> 解体(修繕等)あり <input checked="" type="radio"/> 解体(修繕等)なし		
冷蔵庫及び冷凍機器 0 台			
フロン類の引渡し先*	<input checked="" type="radio"/> 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する <input type="radio"/> 取次者に委託する		
フロン類の処理方法	<input checked="" type="radio"/> 再生希望 <input type="radio"/> 再生・破壊のどちらでも良い <input type="radio"/> 破壊希望		

■第一種フロン類充填回収業者

第一種フロン類充填回収業者登録番号	登録都道府県	
フロン類引取りの終了又は充填ゼロの確認をした年月日	引取証明書又は確認証明書の交付年月日	
第一種フロン類充填回収業者の氏名又は名称*	回収技術者氏名	
上記の住所*	住所1 <input type="text"/>	住所2 <input type="text"/>
担当責任者	部署名 <input type="text"/>	氏名 <input type="text"/>
電話番号	FAX番号 <input type="text"/>	

A票の内容を順番に起票していきます

1 廃棄する機器をログブック一覧から選択します(複数選択可)

No	機器管理番号	施設管理者 施設名	系統名 製品分類	製品施設 都道府県	設備製造者	製造番号 形式	使用冷媒 製造用途	廃棄 対象	操作
1	VLWN-WFTZ-Y6BF	日本ラムズ 東京(管理1) ロイヤルパレス倶楽部	shop10系統 冷凍冷蔵ユニット	東京都	ボラー電機	PEM10S20000214 PEMSG10RVC	R22 冷凍用・プロセス冷却用	<input type="checkbox"/>	閲覧
2	375F-LYE5-SCHZ	日本ラムズ 東京(管理1) 芝パークスクエア	コントロールセンター ビル用パッケージエアコン	東京都	DKNC	aaakshg08450145 DKNPAC24isk3	R22 空調用	<input type="checkbox"/>	閲覧
3	ST4R-7N2C-PNKF	日本ラムズ 東京(管理1) 日本ラムズ・イノベーションセンター	化学製品製造ライン スクリーン冷凍機	東京都	パナダイア	582149	R22 冷凍用・プロセス冷却用	<input type="checkbox"/>	閲覧

2 A票に廃棄する機器情報が反映されます

3 充填回収業者の情報を入力します。初めての場合は、充填回収業者の事業者コード(R+9桁)を聞いておきましょう

4 内容を確認後、回収依頼書を交付します。

dev.jreco.jp の内容
ポイント消費が行われます。
新規登録: 110ポイント
充填回収業者 に対して、回収依頼書を交付しますか?
日付の入力を確認してください。「OK」ボタンを押すと、変更・取り消しは出来ません。
※機器が選択されています。E票交付後に該当の機器のログブックが開鎖されますがよろしいでしょうか。

OK キャンセル

E票交付後に該当の機器のログブックが自動開鎖されます

5 充填回収業者の回収作業終了後、承諾依頼がきますので、廃棄者(代行)としてログインし、担当者責任者の欄に記入をして承諾をします

担当責任者 この項目は必須項目です	部署名* <input type="text"/>	氏名* <input type="text"/>
----------------------	---------------------------	--------------------------

部署名と氏名、交付日を記入し、下部の「確認画面へ」をクリックして確認画面へ進み、下部の「交付」ボタンをクリックすれば承諾完了です。

モード 状態

充填回収業者へ依頼済/回収作業中

廃棄者の行程管理票一覧の状態は充填回収業者へ依頼済/回収作業中と変化します



管理者
(代行)

8. 行程管理票起票③ 【整備者・取次者】

◆廃棄者が行う処理(イメージ) 【充填回収業者がRaMSを利用していない場合】

1. 行程管理票の処理 ※廃棄時に充填回収業者からもらう紙の行程管理票は3年間保存してください

※充填回収業者もRaMSを利用していれば、電子行程管理票でのやり取りになる為、書類の保存期間の心配はなくなり、ログブックの該当機器のデータも、自動で閉鎖処理が行われます。



2. RaMSのログブッカー一覧から該当機器を手動閉鎖処理を行う

※紙で行程管理票を受け取った場合、紙は3年間保存し、
RaMSのログブック一覧から該当機器の閉鎖処理を手動で行います。

最終 更新日	次回簡易 点検期限	次回定期 点検期限	操作
更新			
2024-05-08	2025-01-31	2025-06-30	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 開鎖
2024-04-24	2025-01-31	2025-04-30	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 開鎖



4. 点検・整備・充電・回収履歴 ... 画面に記入された内容が色

状態	装置番号	作業年月日	点検・整備区分	回収量 kg
完了	A001	-	出荷時初期充電量	
		2018-05-04	設置時追加充電量	
完了	A002	2020-05-11	定期点検	0.00 1.00 2.00
		直ちに修理困難な場合は子機を修理する		
			修理予定日	

閉鎖理由の記入例：
機器廃棄のため⇒充填回収業者の情報を
入力して機器の閉鎖を行います。

■閉鎖理由 ☒ 機器廃棄のため ☐ その他
 注意：機器の点検・修理に際し、RAMSに手裏所登録している別の管理者に電子的にログブックを移管する場合は、
 ログブック1枚より「主基新版」画面左下の「施設管理者を変更する」をクリックしてください。
 移管完了後、現状のログブックは自動閉鎖となります。

フロン類引取年月日またはフロン類が充填されていないことの確認を行った年月日
 2024 1 18
 入力日の日付を記入

第一種フロン類充填回収業者の氏名(会社名)
 (株)フロン回収会社

回収技術者氏名
 山田

備考
 充填回収業者がRAMSに対応していません。
 登録番号:1234567

一覧へ戻る